北海道開発局長記者会見資料
平成30年1月17日

平成28年夏の大雨災害に係る復旧状況について

「世界の北海道」を目指して
―北海道総合開発計画―

国土交通省

北海道開発局ホームページへはこちらから。

河　川

北海道緊急治水対策プロジェクト　ハード対策の概要

◆国が管理する河川やダム及び北海道が管理する河川において、堤防や護岸など河川管理施設の被災やダム貯水池に大量の流木が流入。このため、原形復旧のための河川災害復旧事業（災害復旧）や、再度災害防止のための河川災害関連緊急事業（災害関連）及び河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）等により、**国・北海道管理河川あわせて696箇所において総事業費約831億円により、緊急的、集中的に堤防整備、河道掘削や流木除去などのハード対策を実施**。

国管理河川・ダムの概要

全体：108箇所（約317億円）

【原形復旧】
- 災害復旧　81箇所(約145億円)

【再度災害防止】
- 災害関連　25箇所(約　46億円)

※石狩川の一般改修における災害推進費（1箇所）含む
- 復緊事業　2箇所(約127億円)

注）四捨五入の関係で合計値は一致しない

湧別川水系　3箇所(約8億円)
【原形復旧】
- 災害復旧　3箇所（約8億円）

常呂川水系　32箇所(約62億円)
【原形復旧】
- 災害復旧　19箇所(約24億円)

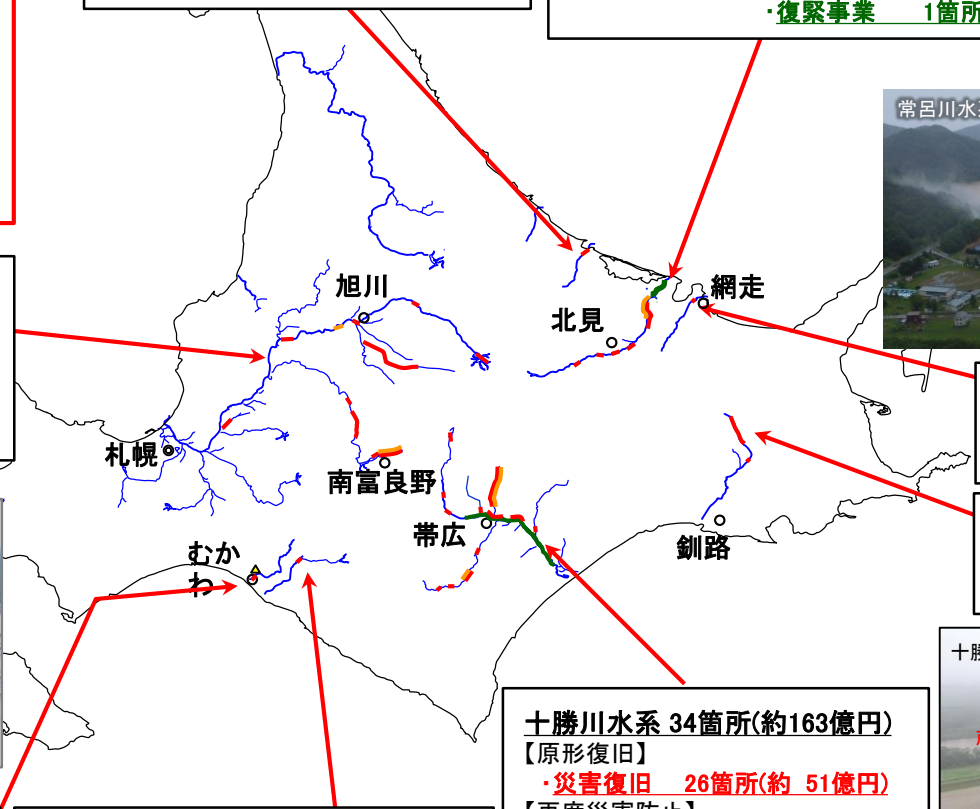
【再度災害防止】
- 災害関連　12箇所(約15億円)
- 復緊事業　1箇所（約23億円）

凡　例
- 災害復旧
- 災害関連
- 復緊事業

石狩川水系　28箇所(約　65億円)
【原形復旧】
- 災害復旧　22箇所(約　43億円)

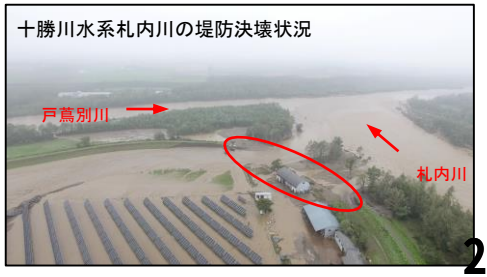
【再度災害防止】
- 災害関連　6箇所(約　22億円)

※一般改修における災害推進費（1箇所）含む



網走川水系　1箇所(約1億円)
【原形復旧】
- 災害復旧　1箇所（約1億円）

釧路川水系　8箇所(約14億円)
【原形復旧】
- 災害復旧　8箇所（約14億円）



十勝川水系 34箇所(約163億円)
【原形復旧】
- 災害復旧　26箇所(約　51億円)

【再度災害防止】
- 災害関連　7箇所(約　8億円)
- 復緊事業　1箇所(約104億円)

鵡川水系　1箇所(約2億円)
【原形復旧】・災害復旧　1箇所（約2億円）

沙流川水系　1箇所(約2億円)
【原形復旧】・災害復旧　1箇所（約2億円）

北海道緊急治水対策プロジェクト　ハード対策の概要　＜農地復旧との連携＞

○　農業の被害面積は約4万ha（札幌ドーム約7千個分）。被害金額は543億円。（9/27　北海道発表）
○　農地が浸水することにより、農作物が「収穫できない・収穫が遅れる」などの被害が発生。特に、ばれいしょやスイートコーン、タマネギなどの野菜類が大きな被害。
○　浸水したことによる作物や土壌の流出及び上流からの土砂の流入が発生。

農作物ごと土壌が流出

農作物の多くが流されたばれいしょ畑

タマネギなどの農作物と合わせ、土壌も流出

日本の「食料庫」である**農地の早期復旧のため、河道掘削土を有効活用できるように関係機関と調整。**

河道掘削した土砂を、

ダンプトラックへ積み込み、

土砂が流出した農地へ運搬し、

農地の早期復旧に有効活用！

平成２９年１２月８日
帯 広 開 発 建 設 部

河川事業により被災農地の災害復旧を引き続き支援します
～　約１３万４千m³の河道掘削土の提供を開始　～

帯広開発建設部では、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として河道掘削を実施しています。
昨年８月の一連の台風災害の影響により表土流出等の被害があった十勝川流域の農地に対する災害復旧支援として、引き続き十勝川の河道掘削土の提供を行います。１２月１１日から２月下旬頃までにおよそ１３万４千m³分の運搬（ダンプトラック約２万５千台分）を行う予定です。

昨年の北海道においては、８月１７日から３１日までの２週間に３つの台風が上陸、１つの台風の接近により道東を中心に記録的な大雨となり、十勝川流域の農地では、河川の氾濫等により表土流出などの大きな被害が発生しました。

帯広開発建設部では、河川整備計画等に基づき、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、河道掘削を実施しているところですが、今回被災した農地の迅速な災害復旧を図ることを目的として、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するＪＡ、帯広開発建設部などを構成員とする「平成２８年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」が開催され、河川工事などにより発生する土砂の提供などについて協議を行いました。

帯広開発建設部では、同会議の協議に基づき調整が図られた農地に対し、昨年１２月１５日から河道掘削土の提供を行い、これまでにおよそ４４万m³の土砂を提供しました。今後も引き続き土砂の提供を行う予定です。

※プロジェクトの詳細は、以下のURL から御参照ください。
「北海道緊急治水対策プロジェクト」
https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/ud49g7000000xh76-att/09_tisuipj.pdf

【問合せ先】
〇河川掘削土の運搬に関すること
国土交通省　北海道開発局　帯広開発建設部
池田河川事務所　副所長　坂内　利孝　　電話　015-572-2661（代表）
〇その他に関すること
国土交通省　北海道開発局　帯広開発建設部
治水課　　課　長　米元　光明　　電話　0155-24-4105（内線291）
帯広開発建設部ホームページ　http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html

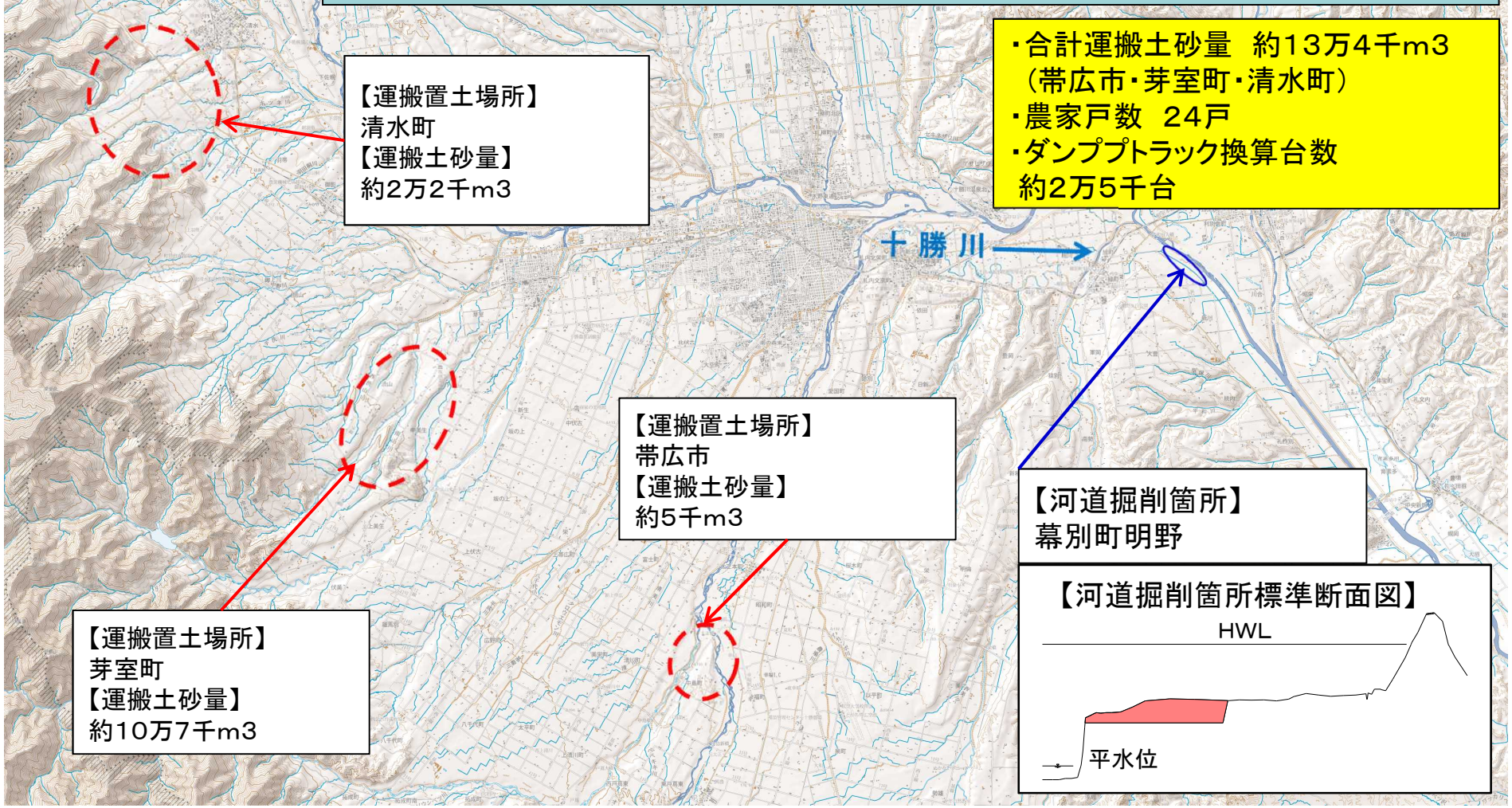
十勝川における河道掘削土の運搬について

国土交通省

【十勝地方における取組】

○十勝川流域の農地では、平成28年8月の洪水などによって表土流失などの大きな被害が発生。これら農地の迅速な災害復旧を図るため、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJAなどとともに、「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」などを開催。

帯広開発建設部では、河川事業による農地の災害復旧支援のため、引き続き12月11日から順次河道掘削土の運搬を行う。



十勝川における河道掘削土　取り組み内容

国土交通省

復旧前の農地

河川掘削土の搬出状況

復旧完了した農地

被災農地への積み卸し状況

道　路

国道の被災及び復旧の状況

国土交通省

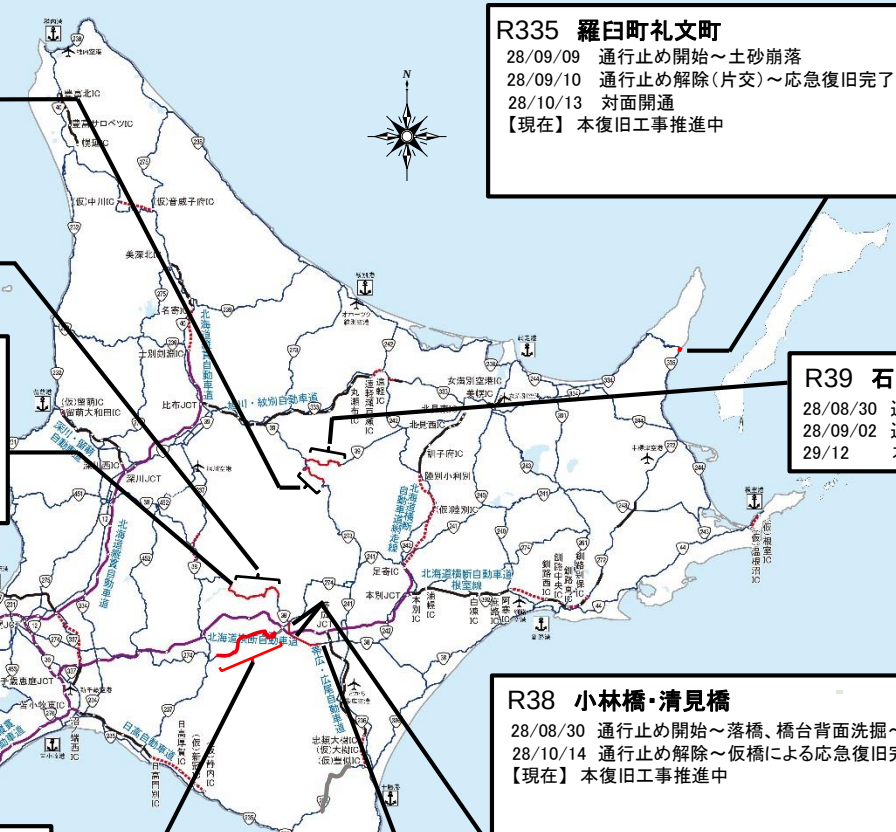
「世界の北海道」を目指して
―北海道総合開発計画―

○平成28年8月20日からの大雨により、土砂崩落、落橋等が道内各地で発生し、国道28路線54区間において通行止めを実施
○平成29年10月28日に国道274号日勝峠の通行止めを約１４ヶ月ぶりに解除（全区間の通行止め解除）
○引き続き本復旧工事を推進し、早期完了を目指す

R273　高原大橋
28/08/20　通行止め開始～橋脚沈下等
28/09/30　通行止め解除～仮橋による応急復旧完了
【現在】 本復旧工事推進中

R38　狩勝峠
28/08/30　通行止め開始～法面崩壊箇所等
28/09/11　通行止め解除～応急復旧完了
【現在】 本復旧工事推進中

R38　南富良野町市街地～落合
28/08/30　通行止め開始　～太平橋橋台背面洗掘等～
28/08/31　幾寅地区・落合地区の孤立解消
28/09/03　通行止め解除～応急復旧完了
29/09　　本復旧工事完了



R335　羅臼町礼文町
28/09/09　通行止め開始～土砂崩落
28/09/10　通行止め解除（片交）～応急復旧完了
28/10/13　対面開通
【現在】 本復旧工事推進中

R39　石北峠
28/08/30　通行止め開始～土砂流出～
28/09/02　通行止め解除～応急復旧完了
29/12　　本復旧工事完了

R38　小林橋・清見橋
28/08/30　通行止め開始～落橋、橋台背面洗掘～
28/10/14　通行止め解除～仮橋による応急復旧完了
【現在】 本復旧工事推進中

R38　芽室橋
28/08/31　通行止め開始～橋台背面洗掘
28/09/03　通行止め解除（2/4車線）～応急復旧完了
29/05/17　通行止め解除（4/4車線）～橋台の安定を確認
【現在】 本復旧工事推進中

R274　日勝峠
28/08/30　通行止め開始～落橋、土砂崩落等
28/09/13　千呂露橋～町道ﾊﾟﾝｹﾇｰｼ川沿線応急復旧
　　（千栄地区住民、緊急車両、工事車両のみ通行可）
28/11/29　解除目標公表「平成29年秋頃を目標に通行止め解除」
29/03/31　一部通行止め解除　日高町千栄地区L=3.4km(通行止め延長L=39.5→36.1km)
29/08/22　解除予定時期公表「平成29年10月末までに通行止め解除予定」
29/10/24　解除時期公表「平成29年10月28日13時に通行止め解除」
29/10/28　通行止め解除(36.1km)　本復旧工事継続

日勝峠通行止め解除後の交通状況

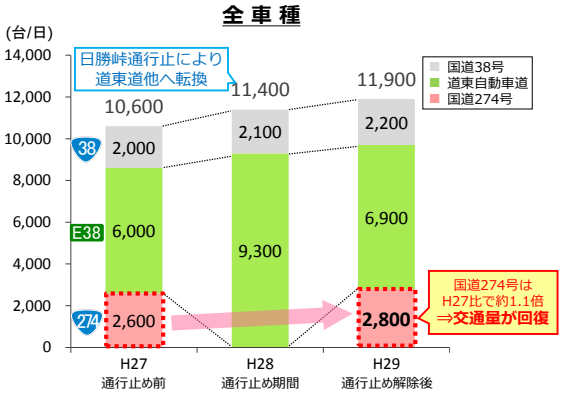
国土交通省

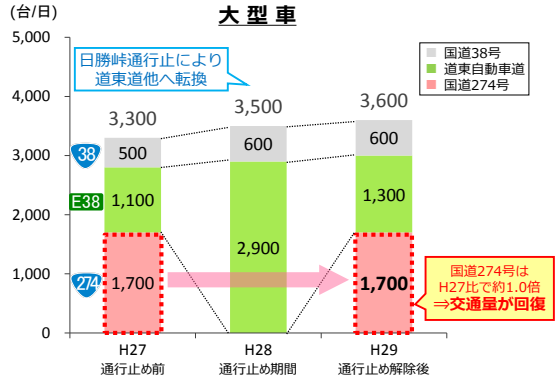
「世界の北海道」を目指して
―北海道総合開発計画―

○国道274号日勝峠の交通量は通行止め前の水準に回復し、道央圏と道東圏を結ぶ幹線ネットワークとして道東自動車道とともに機能

○道の駅等の沿道施設の入込客数も通行止め前の水準以上に回復し、農産品の物流や沿線地域の観光振興等を担う幹線ネットワークの代替性を確保。道東自動車道の通行止め時は日勝峠が代替路として機能し、広域分散型社会の北海道での大規模な迂回の回避が可能

▼断面交通量の比較（A-A´）

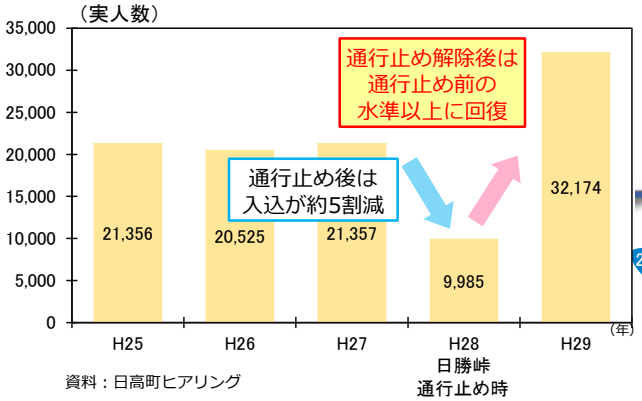




※通行止め前　　：H27.11．1(日)～1.9(土)
　通行止め期間　：H28.10.30(日)～1.7(土)
　通行止め解除後：H29.10.29(日)～1.6(土)の日平均交通量
※国道は北海道開発局、道東自動車道はNEXCO東日本による速報値

▼通行止め解除後に賑わう道の駅樹海ロード日高

▼道の駅樹海ロード日高の入込客数状況
（11月・12月の合計値）



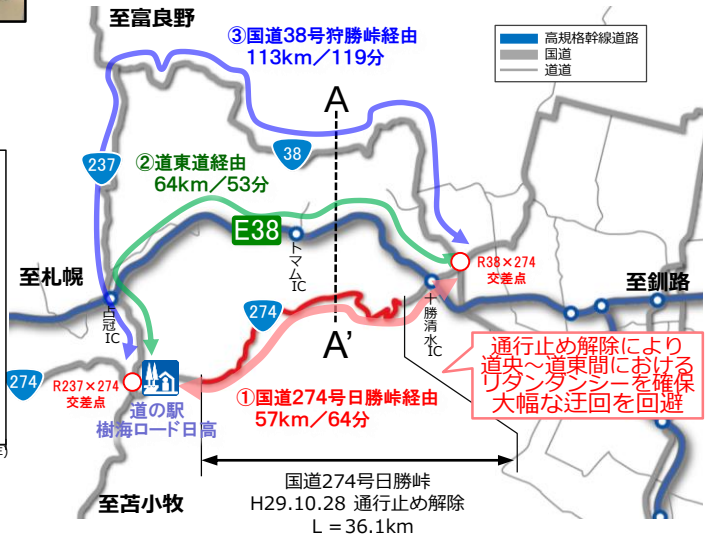
資料：日高町ヒアリング

声

【日高町の声】
・道東・道央双方からの通行車両や輸送車両などが戻り、道の駅を含めた観光施設や飲食店にも活気が出てきました。
・町外からの流入に伴う経済効果での地域経済回復に期待しています。

▼道東自動車道・日勝峠・狩勝峠の時間距離

道東道の通行止め時は日勝峠を通行することで大幅な迂回を回避
（国道38号狩勝峠経由に比べて約１時間の短縮）



※日勝峠の通行止め解除後平成29年11月・12月に道東道占冠IC~十勝清水ICでは交通事故による通行止めが計4回、約10時間発生

農　業

直轄災害復旧事業（農業）の進捗状況①

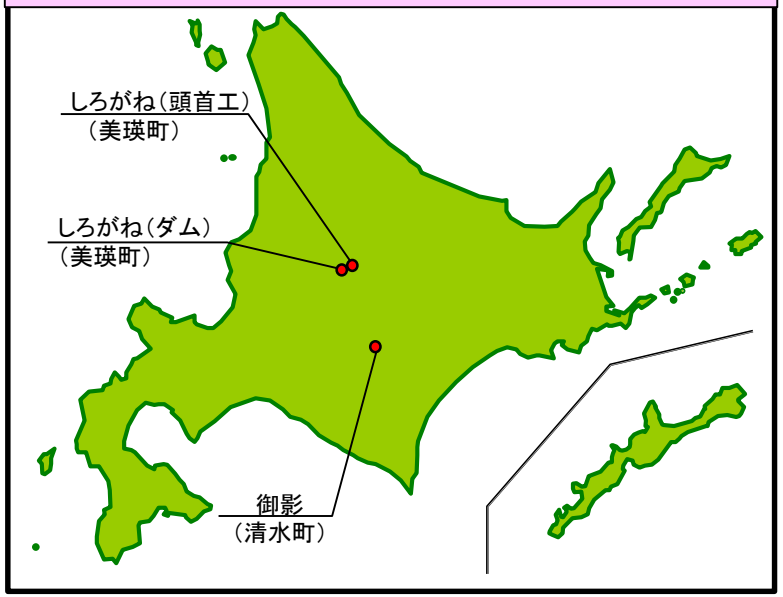
○平成28年7～9月の大雨により被災したダム1か所、頭首工3か所の4施設を対象に、直轄災害復旧事業（農業）を実施している。

○ 平成29年3月までに、平成29年度の営農に必要な用水を応急的に確保したのに続き、平成29年度から本格的な復旧工事を実施し、平成30年中の完全復旧を目指しているところ。（平成29年12月末時点の進捗率は約7割）

直轄災害復旧事業（農業）

地区名	しろがね（ダム）	しろがね(頭首工)	御　影
関係施設	しろがねダム	しろがね頭首工	石山頭首工 円山頭首工
被災内容	H28年7/31の局所的な豪雨により、しろがねダム堤体下流法面が浸食	H28年8/22の台風9号の豪雨に伴う土石流により、頭首工が被災	H28年8/30夜に接近した台風10号の豪雨に伴う河川の氾濫により、頭首工が埋没
進捗率 (H29.12時点)	74%	80%	55%

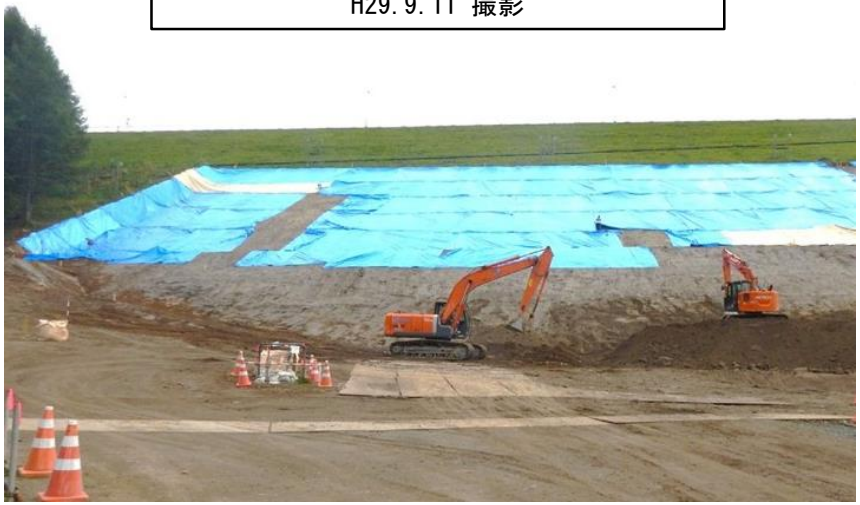
H28直轄災害事業の実施位置図



【御影地区】円山頭首工の被災状況

直轄災害復旧事業（農業）の進捗状況②

しろがねダム堤体下流法面の復旧状況
H29.9.11 撮影



しろがね頭首工の復旧状況
H29.11.8 撮影

石山頭首工の復旧状況
H29.11.6 撮影

円山頭首工の復旧状況
H29.10.24 撮影